

令和5年度「地域と学校の連携・協働体推進事業」事業で重点的に取り組む課題

課題の類型1	課題の類型2	課題の詳細	左記課題の解決のために本事業で取り組むこと	本事業で達成する目標(アウトカム)	目標の達成度を測る指標	現状の数値	単位	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析(事業における成果、課題、改善点等)
②学校と地域の課題	学校支援ボランティアの確保・育成	多様化する学校業務の中で、教職員の勤務負担の軽減、地域と子どものつながりの強化のため、市内において学校支援ボランティアへの需要が高まっており、それに応える人材の確保が課題となっている。	学校支援ボランティアの活動に関する周知活動、関係機関等との情報交換を行う。	学校支援ボランティアの活動に関する周知活動、関係機関等との情報交換により、ボランティア人材を広く募集し、登録者を増加させる。	ボランティア登録者数	40	人	50	54	コーディネーターが中心となり、地域ボランティアと学校を結びつける本事業は、教職員の多忙化や、学校の働き方改革の観点などから、その需要は年々高まっており、またボランティアにとっても子どもや学校とふれあうことがやりがいにつながっていることから、学校、ボランティア双方にとって効果の高い事業である。 この活動をより活性化させるため、ボランティアの輪を広げていくことを目標とし、福祉団体等との連携協議、情報交換の機会を持ち、ボランティア増加につなげることができた。 今後も、ボランティアの輪を広げる活動を継続し、より多様な人材の確保に取り組んでいきたい。
②学校と地域の課題	青少年の健全育成	コロナ禍や核家族化等の社会情勢の変化により、子どもたちと地域のつながりの希薄化、地域の教育力の低下が課題となっている。	地域ボランティア等による体験教室(土曜チャレンジ教室)を開催する。	地域ボランティア等による体験教室(土曜チャレンジ教室)を開催し、地域の大人と子どもがふれあう機会を創出する。	地域ボランティア等による体験教室(土曜チャレンジ教室)の参加延べ人数	294	人	350	261	市内の放課後子ども教室を支える地域ボランティアが中心となり、地域の子どものために、様々な体験教室を行っている本事業は、地域の大人と子どもたちの交流を促進させている。 今年度は、開催回数は増加したが、複数校区合同で開催するため、開催日が学校行事と重なってしまうことや、感染症の流行等により、参加者数としては減少した。 今後は、開催日を慎重に検討し、魅力的なプログラムを提供できるよう取り組んでいきたい。